

# 奈保子



河合奈保子写真集  
PART-4

近代映画増刊



# NGKOK





# NAOKO IN BA







































AND BEACH





KOLAN ISL

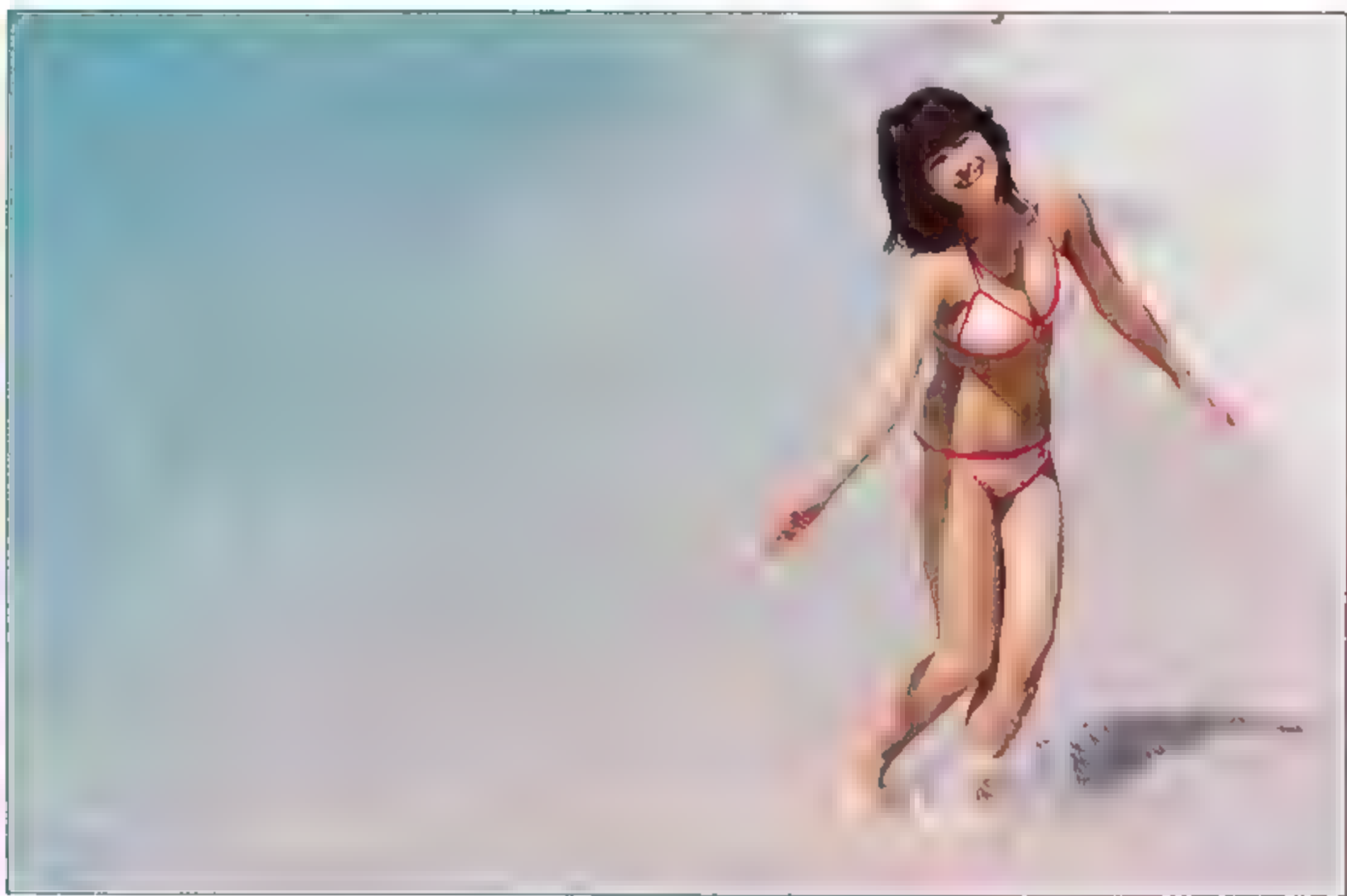








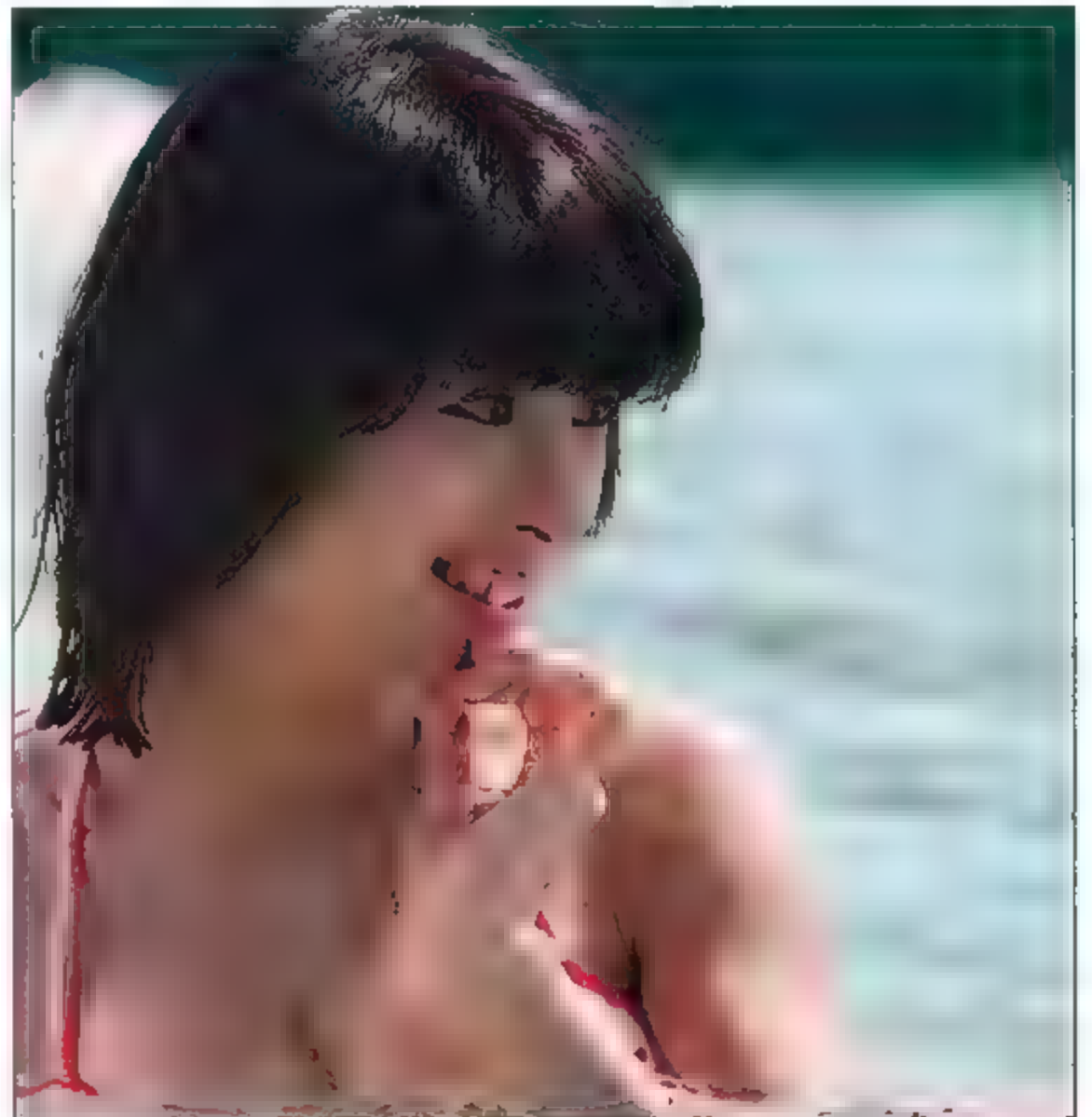
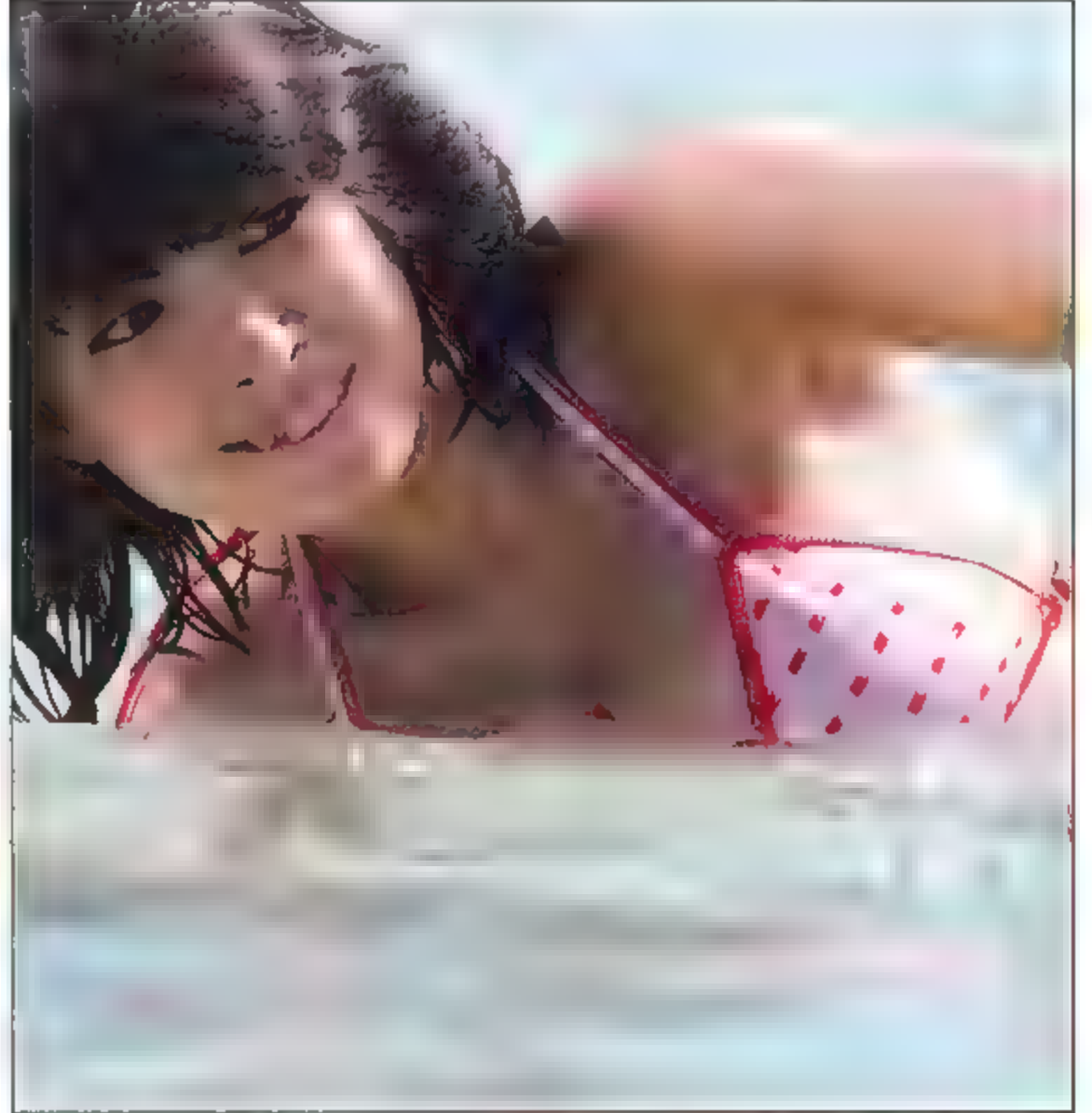
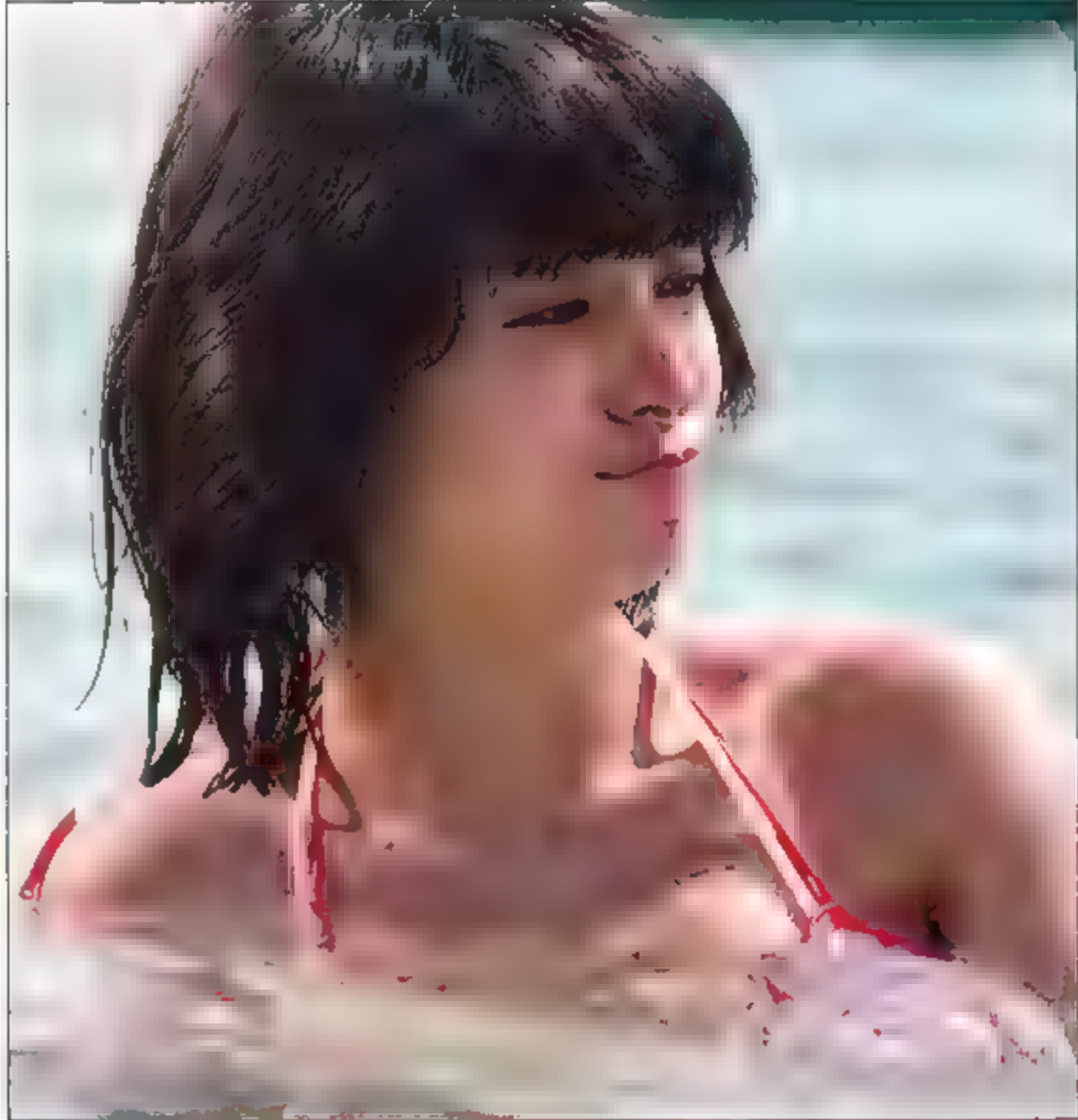
























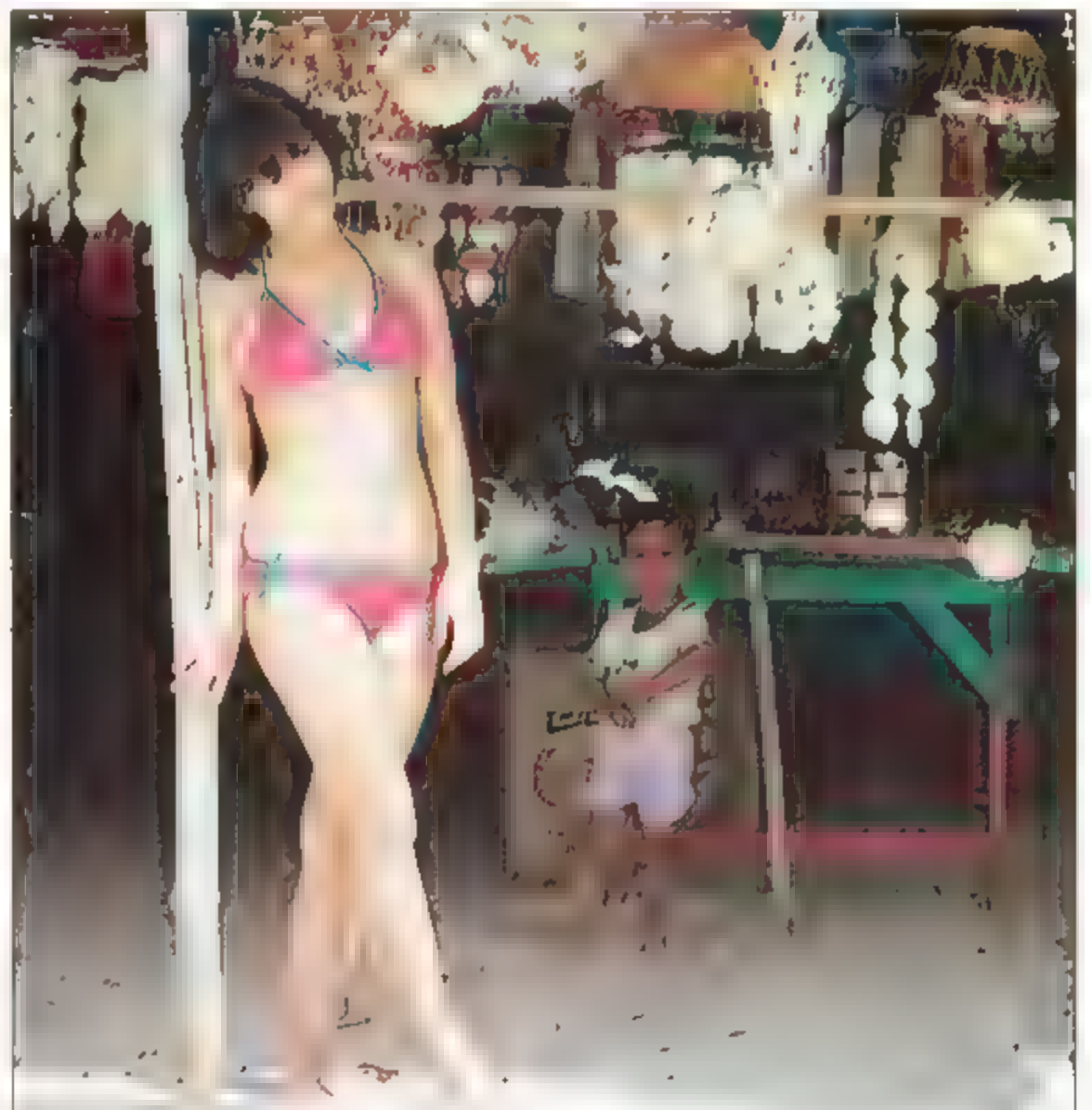
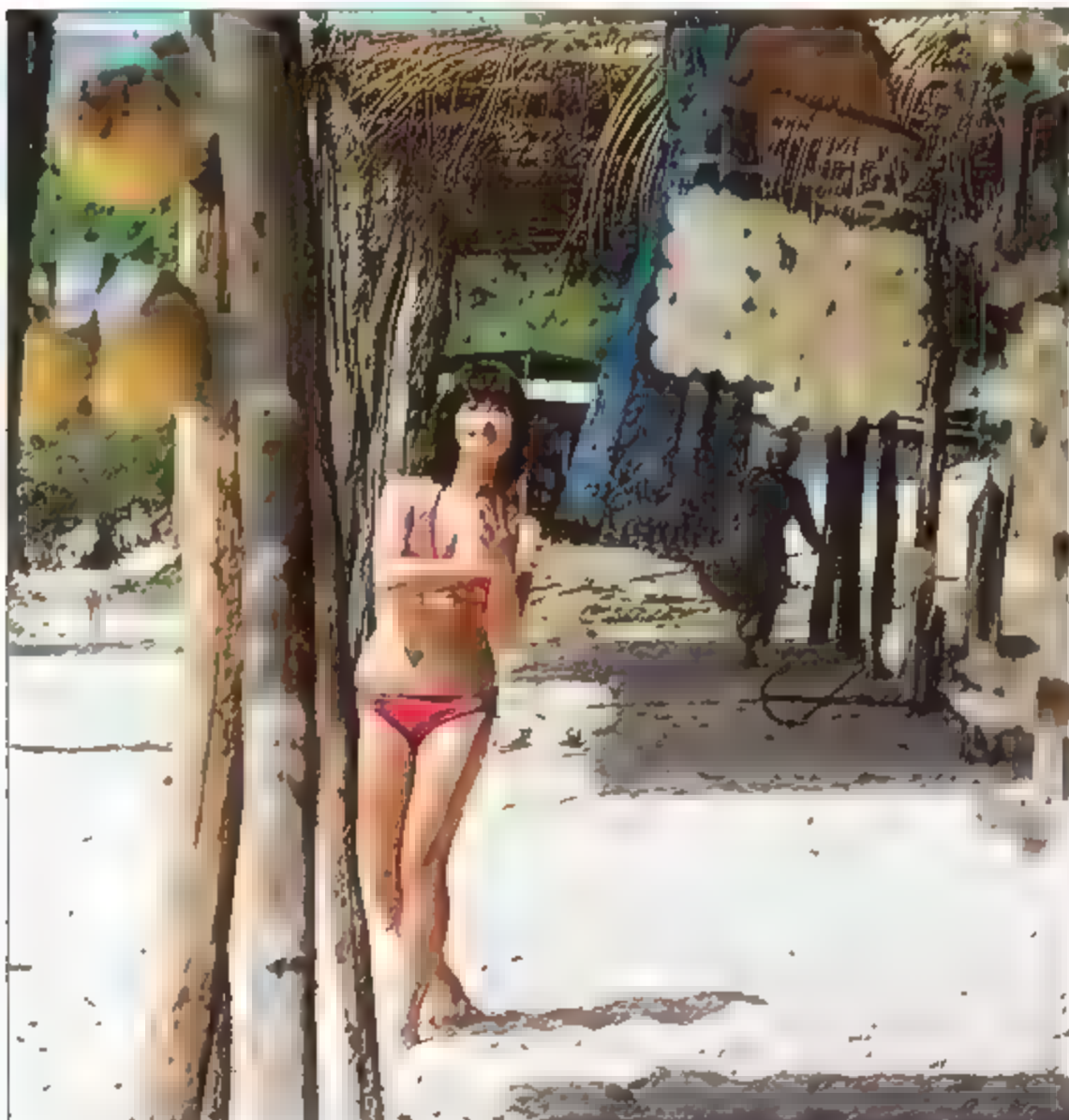




















ING LADY





A DAZZL































# IN QUIET BEAUTY



鏡にうつるわたし なぜだかいつもとちがうみたい  
やさしい陽ざしの街角で 春の匂いを感じたせい?  
ハートがキラキラときめきます 100パーセント恋の予感に……













の小説開いて… 誰にもじゃまされない奈保子だけのやすらぎタイム





一人っきりの時間がスキ お気に入りのレコードかけて 読みかけ















いつもいつでも待ってるの ステキな恋めぐり逢い  
大人へ続く階段を二段二段昇りながら ドラマチックなロマンスを待っているの































キラキラきらめく私の心 ユラユラゆれる私の想い  
ときめき気分のナインティーンは 不思議いっぱいミステリアスなお年頃  
私のハートの五線紙に ステキな誰か  
ロマンチックな愛のメロディ 刻みこんで……  
優しいメロディ 刻みこんで……



# JOURNEY OF THAILAND







ร้าน  
หมู  
ย่าง

12 ข





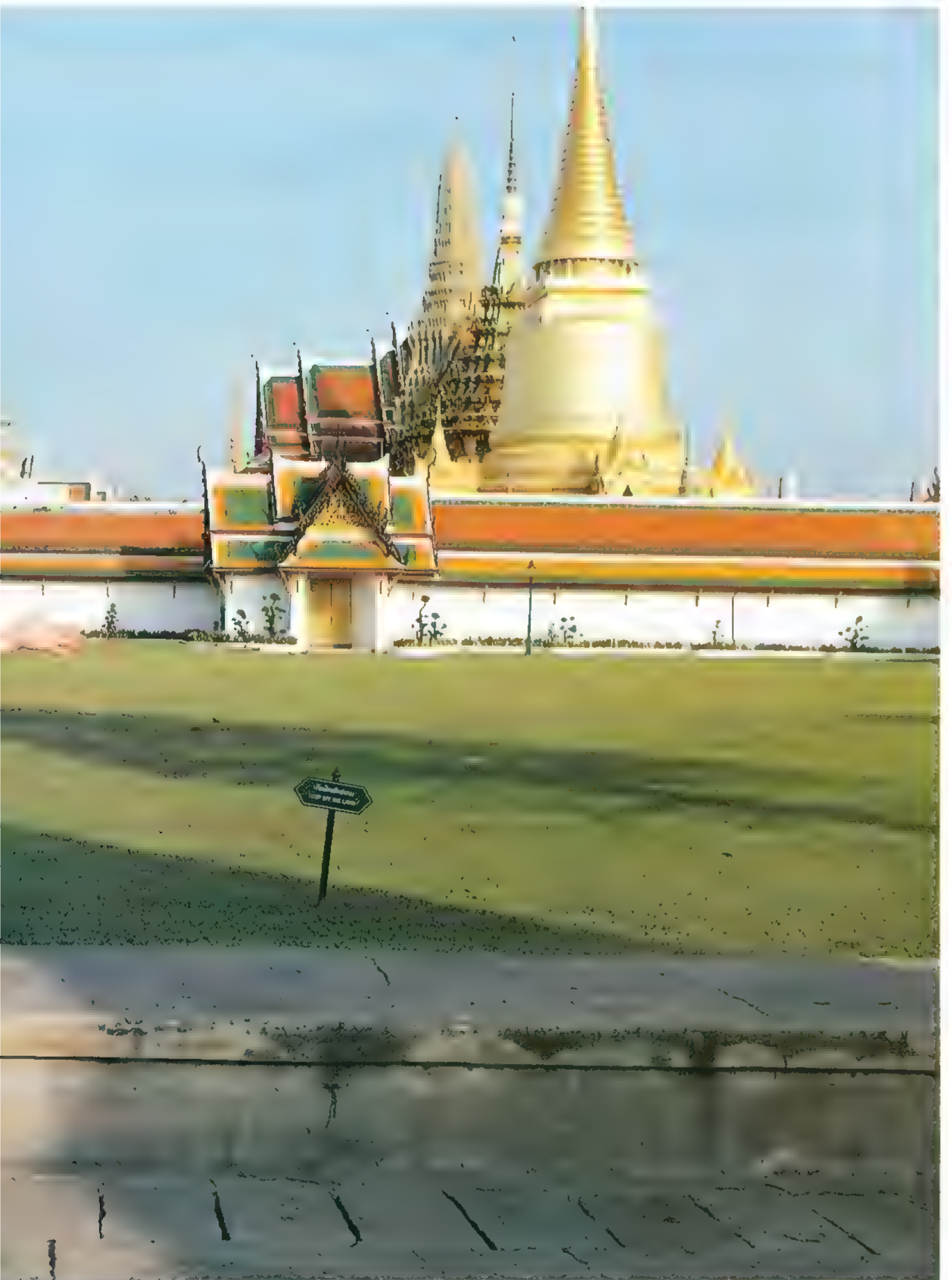








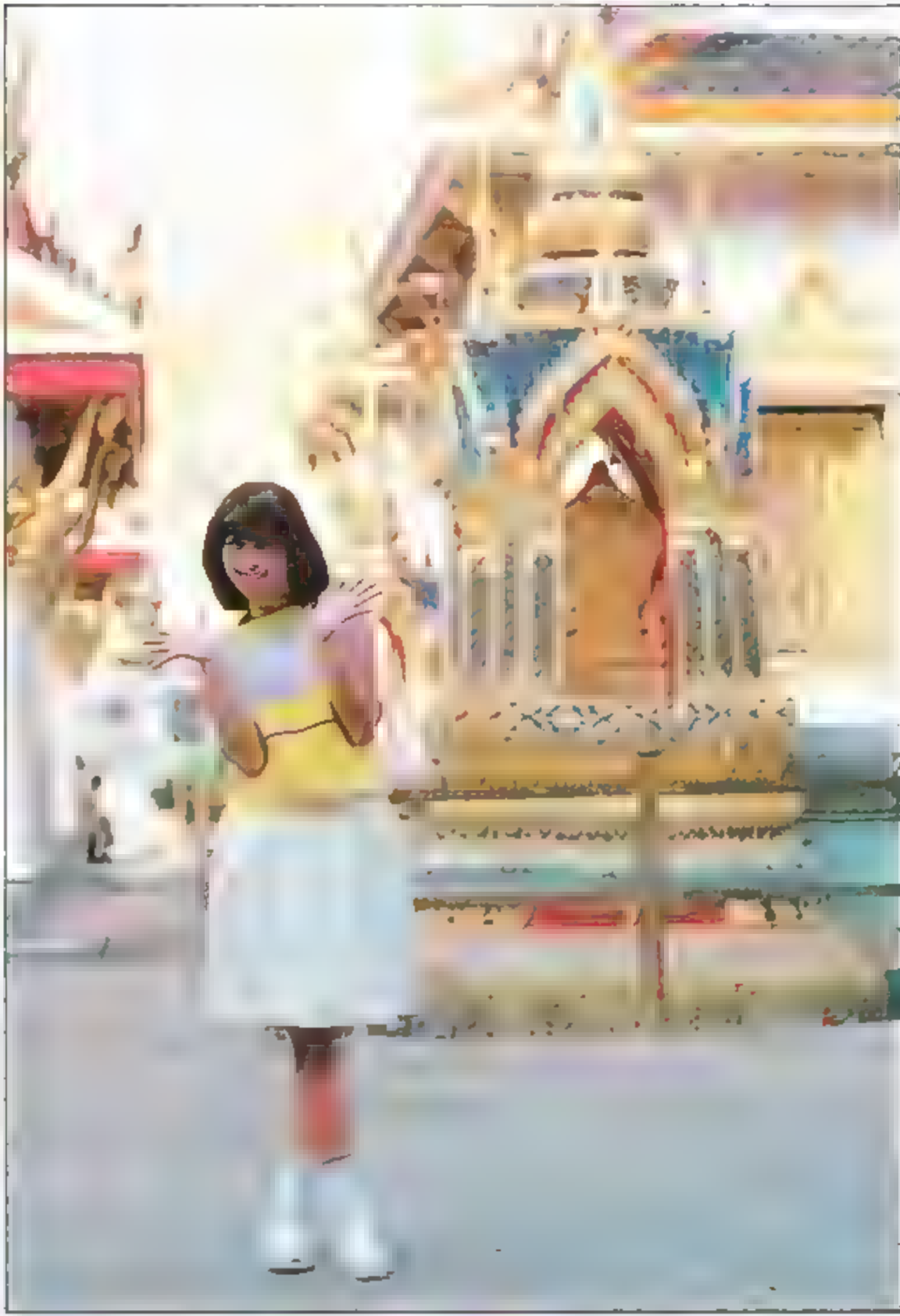




















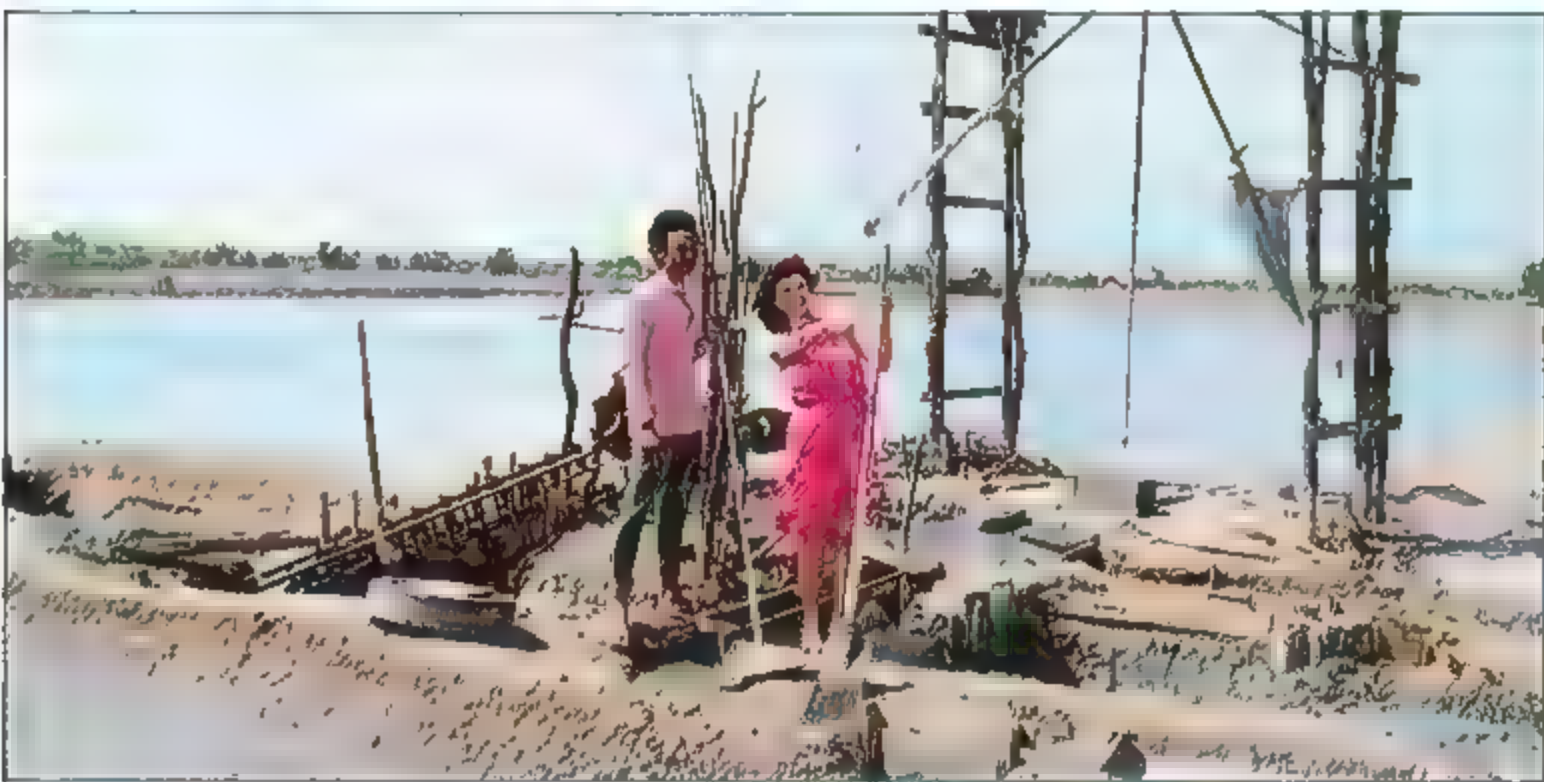




















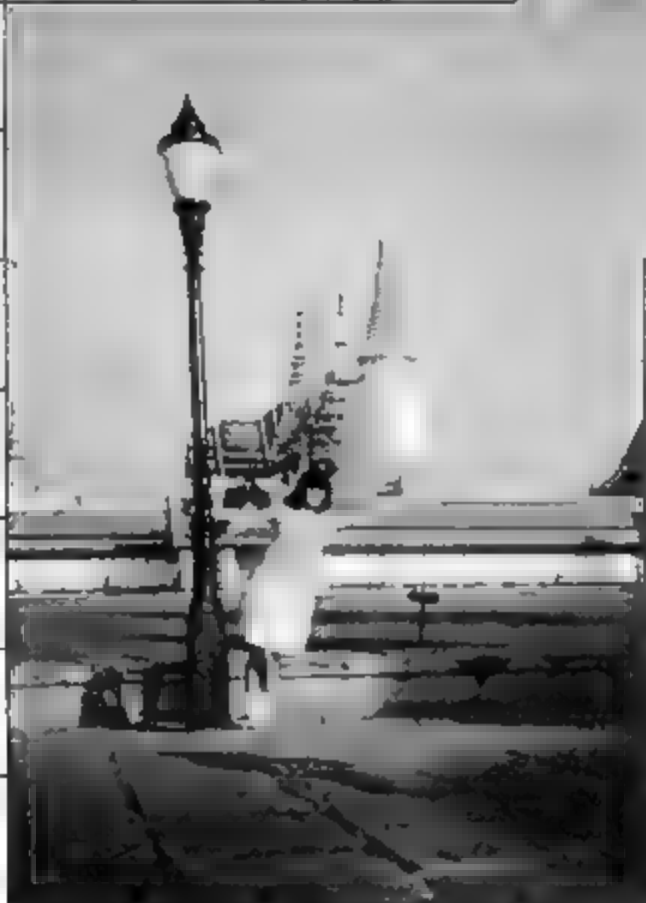






# NAOKO'S DIARY

16 ~ 20 DECEMBER 1982





→スタッフ全員集合ノレッツ・ゴー



↑ワット・アルンの寺院は本当にスバラシイ!

12月16日

いよいよバンコクへ出発! 夕方の飛行機で成田をテイク・オフすると 黄昏色の街がどんどん小さくなって行きます なんとなくセブンチメンタルな気分……

バッグの中には しっかりタイのガイドブック 奈保子特製のバンコク・メモも入ってます ウォークマンに耳を傾けながら 「タイってどんな国なのかな? ステキなことが待ってるかしら……」なんて色んなことに想いをめぐらせていると いつのまにかウトウト眠りに落ちて……

「奈保子 もうすぐ着くよ」というマナージャーの声で目をさますと もうタイ・ランドの空の上

成田から6時間でバンコクです 空港には今回色々お世話をしてくれる現地のコーディネーター・レクさんが出迎えに来てくれていて30分ほど車に乗って ホテルにつくともう12時すぎ おながすいたので何か食べに行こうという話になったんだけど 今から外へ出るのも大変だし 翌日朝早くパタヤ・ビーチに出かける予定だったので ルームサービスでサンドイッチを注文 遅い夕食をとった後 シャワーを浴びて フカフカのベッドへ……

奈保子のバンコク第一印象は……

↓新鮮な貝やお魚の料理が最高!





# NAOKO'S DIARY



↑ ちょっと学生さん達のバスに乗ってパチリ

もっとむし暑いと思ってたのに  
サラッとしていて涼しいなってこ  
と 11月から2月頃までは 一番  
すごしやすい季節だって ガイド  
ブックにも書いてあったけど ホ  
ントにその通り！ いい時期に来  
て良かったナリ！  
あともうひとつ思ったのは フル  
ーツが思ったよりおいしくないっ  
てこと 時期が悪かったせいかも  
しれないけど……ルームサービス  
でとったサンドイッチに フルー  
ツもいっぱいいついてきたんだけど  
オレンジにしてもパイヤにして  
も 大味でちよっとガックリ！  
フルーツはバツだったけど 他に  
もおいしいものはいっぱいあるは  
ず！ せっかく来たんだから 思  
う存分食べて帰らなきゃネ アレ  
ーッ？ なんか 奈保子バンコク  
食べ歩記 になっちゃいそうな雰  
囲気だけど 明日からの撮影がう  
まく行くことを祈って……おやす  
みなさーい！！

12月17日

朝7時起床 ホテルのコーヒーハ  
ウスで朝食をとって 9時 チャ  
ーターしたマイクロバスでパタヤ  
ビーチに出発 ガイドブックによ  
ると パタヤはバンコクから南へ  
150キロ ハワイやグアムよりも南  
にあって 延々と続く白い砂浜







←寺院を警備している兵隊さんです



エメラルドグリーンの海……胸を  
ワクワクさせているとマイクロバ  
スは パンコク市内の朝のラッシ  
ュアワーに遭遇 日本の渋帯もス  
ゴイけど ここはもうそれ以上！  
道路はゴミゴミしてて 車は走る  
は オートバイは走るは 自転車  
は走るはもうスゴイ騒ぎ！ 車な  
ンか みんな日本車の古い型みた  
いなのはつかしで マネージャー  
曰く 「20年ぐらい前の日本みた  
いだなア！」  
ラッシュュを通りこして 近代的な  
ハイウェイに乗ると ようやくド  
ライブ気分……金ピカのきれいな  
寺院や水牛のいる水田 ニッパ椰  
子で屋根をふいた高床式の民家が  
集まっているいくつかの村や町を  
越して 約2時間でパタヤビーチ  
着 すぐにビーチのはずれにある  
ロイヤル・クリフ・ビーチ・ホテ  
ルにチェック・イン 何でもプラ  
イベートビーチのあるこのホテル  
はパタヤでも一番いいホテルだと  
か……パタヤビーチの印象は 砂  
浜が思ったより狭くて わりとゴ  
チャゴチャしてるって感じ ここ  
の海は遠浅じゃなくて ちょっと  
はいるとスゴク深くなっているの  
ネ だから遊覧船なんかもズラッ  
と並んでいたりしてね……それで  
もビーチにはニッパ椰子のパラソ  
ルがあったりして 100%南の島気



↑きれいな海 泳げたらなあ……





# NAOKO'S DIARY



↑めずらしい輪タクに乗って観光見物デース



分……部屋に荷物をおいてホッと息をつくヒマもないうちに ホテルのプールサイドで撮影開始 水着でとってたんだけど 色が白いからやっぱり目立つのかな？ ホテルの従業員の人たちがみんな奈保子のこと見てるの ニコニコしながら見てるのネ だから奈保子ここぞとばかりにレクに教わったタイ語で「コックンカップ（こんにちわ）」って言ったの！ そしたら向うも答えてくれて 大感激！ プールでの撮影の後は ホテルのスイートルームで撮影 この部屋っていうのがスバラシイお部屋なの 海ぞいのがけの上に建っていて窓の向うはもう海！ って感じなの メインルームの他にベッドルームが3つもあって ベッドは全

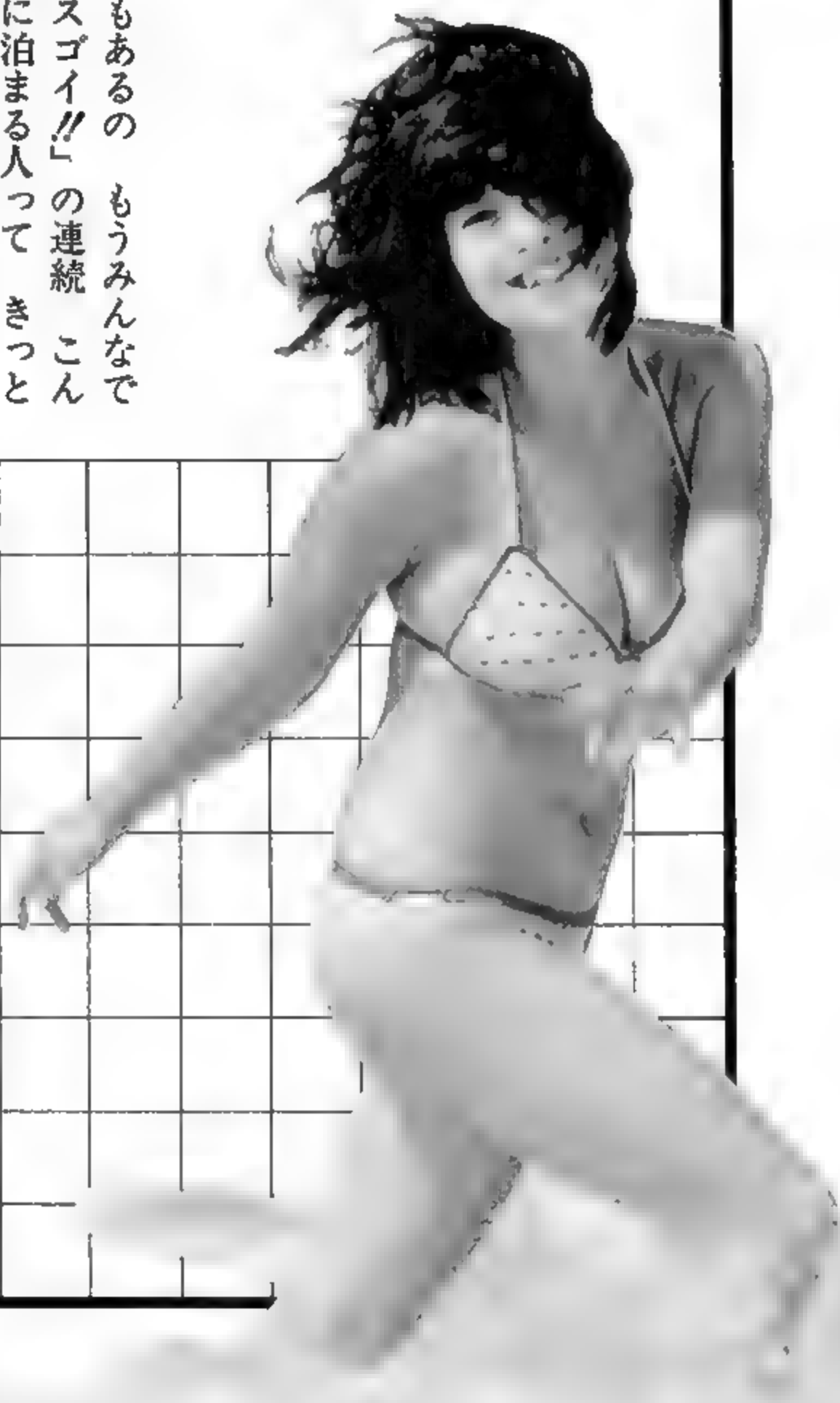
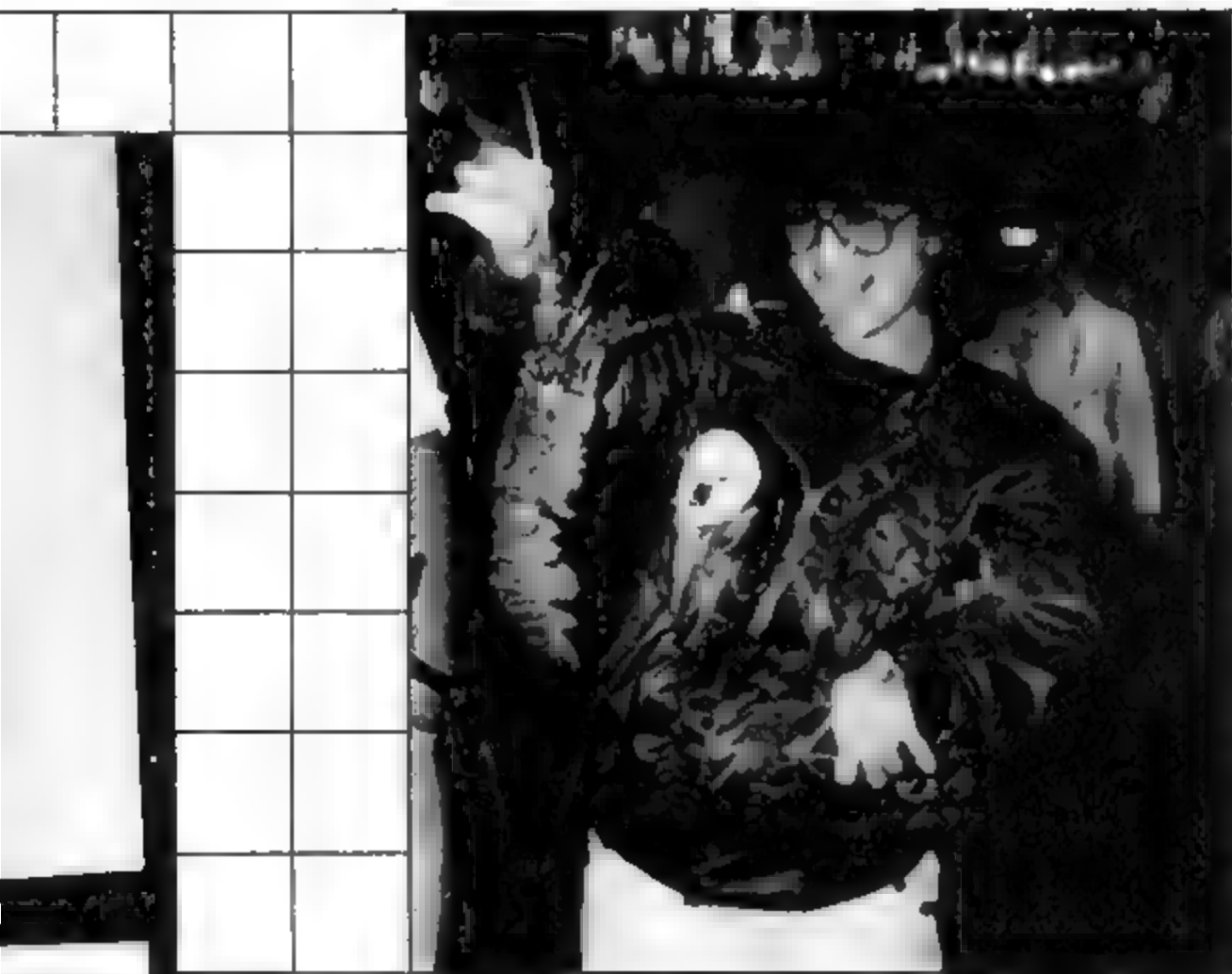




←初めての黒い水着 似合うかな!?



部で6コもあるの もうみんなで  
「スゴイスゴイ!!」の連続 こんな  
なお部屋に泊まる人って きつと  
アメリカやヨーロッパの大金持ち  
なんでしょうね  
夕方からは ホテルのプライベ  
ートビーチで撮影 水は思ったより  
冷たかったけど シヤム湾に沈む  
夕陽には大・大・大感激! 4時  
頃から暮れはじめて 空は黄昏グ  
ラデーション 最後の金色の光が  
海の向こうに消えると ビーチの  
椰子のパラソルや椰子の木が黒い  
シルエットになって ステキな夜  
のはじまり……  
夕食は パタヤで一番有名なシー  
フード・レストランでリッチなお  
食事 ブイヤーベースを食べたん  
だけど これがもうサイコーの味  
カニ エビ 白身のサカナ ムー  
ル貝やアサリ ハマグリ イカ……  
新鮮な海の幸がタップリ入ってて

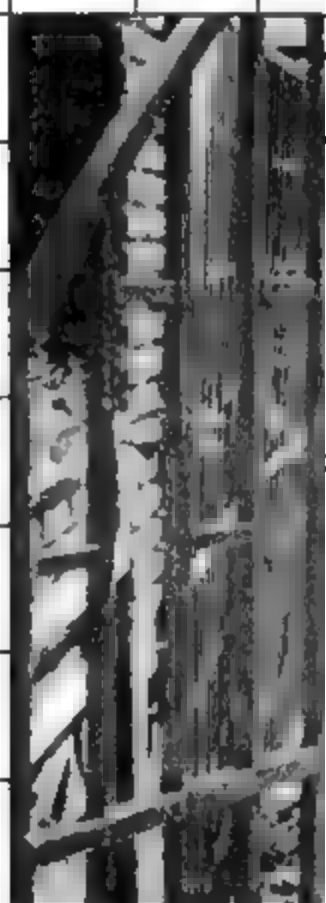




# NAOKO'S DIARY

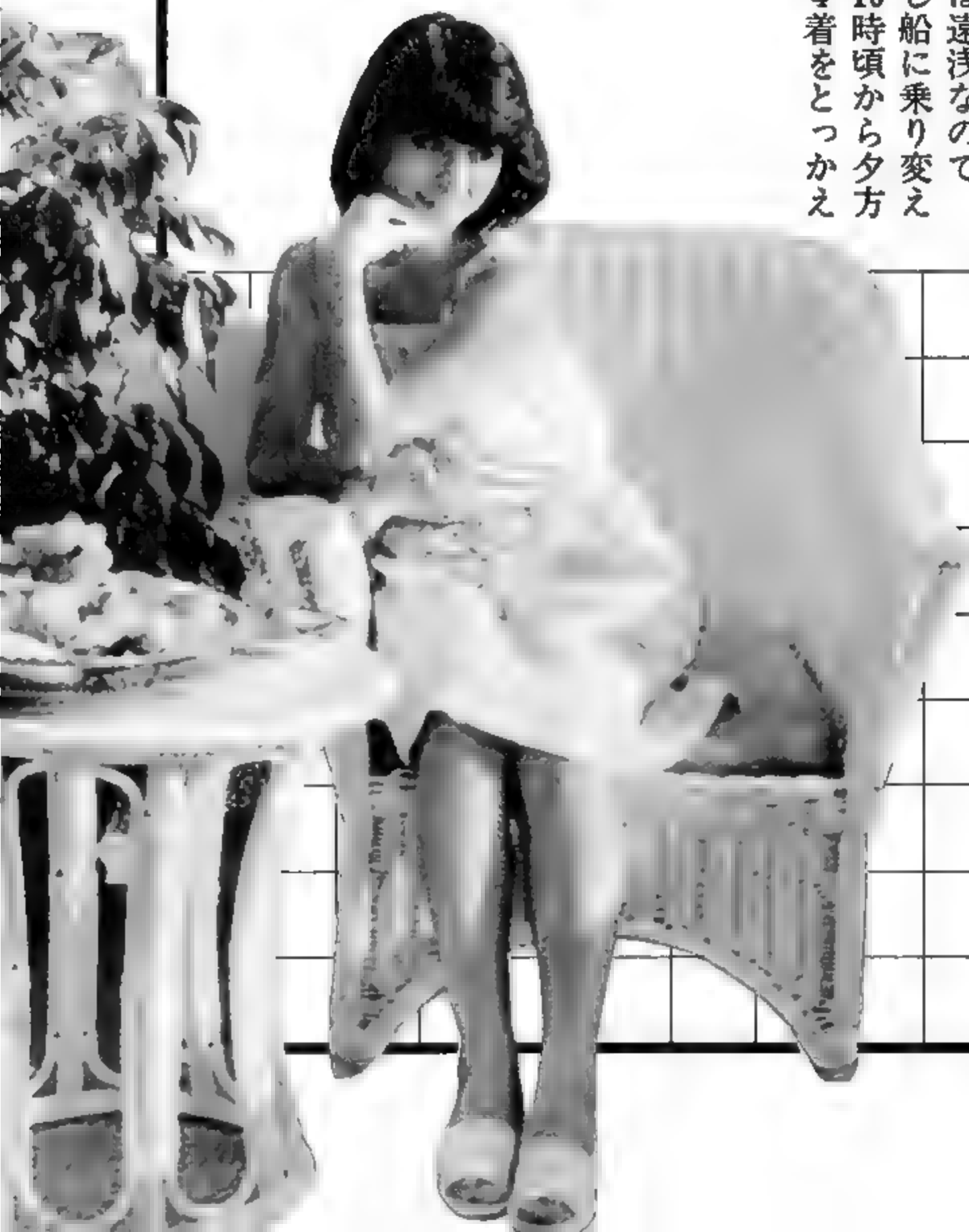


↑新鮮な魚やエビ 貝がドッサリ 好きなのを選んで料理してもらう



もうおなかイッパイ！これだけ  
食べたんだから少しは運動しなく  
っちゃっていうんで 腹ごなしに  
パタヤのメイン・ストリートに  
ライリウォッチング ここも巾10  
メートルくらいのもので 人と車  
でこった返してるところ あちこ  
ちお店をのぞいて あれこれ迷っ  
た末 黒の水着を買いました 黒  
って初めてだから 似合うかどう  
かちょっと不安……  
11時頃 ホテルに戻って 街で買  
った絵ハガキを書いて シャワー  
を浴びて 12時就寝  
12月18日  
パタヤから船で40分ほどのコラン  
島で撮影 この島は遠浅なので  
砂浜の目の前で渡し船に乗り変え  
て 島に上陸 朝10時頃から夕方  
3時頃まで 水着4着をとつかえ  
ひっかえで撮影

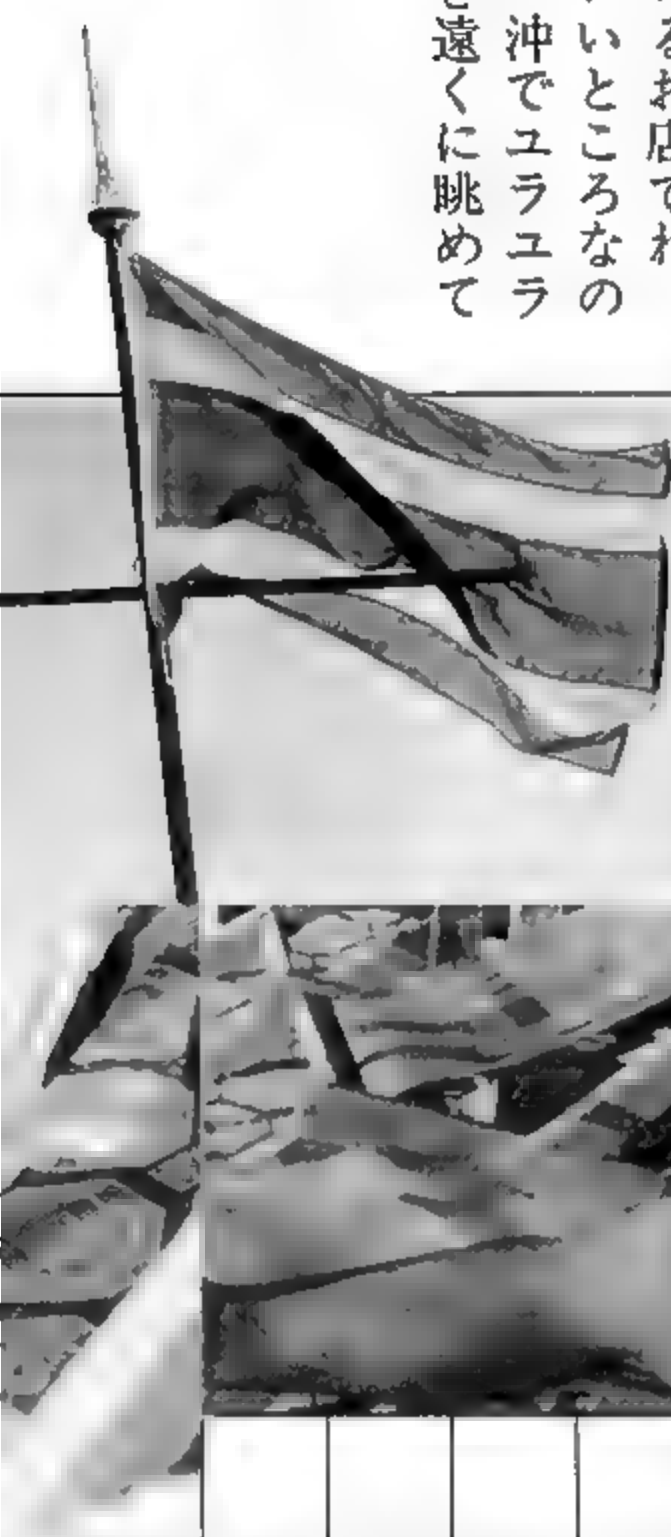
↓デラックス・ルームはながめが1ツグン！



# NAOKO'S DIARY



この陽射しはものスゴク強くて  
 まっ白な砂に照り返して、みるみ  
 るうちに肌が火照っていくという  
 感じ……  
 撮影でね、椰子の実の中のジュー  
 スを初めて飲んだの！ 甘くって  
 何ともいえない味だったけど、南  
 の島の香りがつまってたみたい……  
 撮影してるとね、もの珍しいのか  
 貝細工とかそういうおみやげ品を  
 売りにくるワケ、それで貝のネッ  
 クレスをひとつ買ったんだけど  
 一回買うと、「もういらない」って  
 言ってるのに、ずっーとくっつい  
 てくるの。オバさんと子供がカゴ  
 を下げてね……  
 帰りの船では、デッキチェアにね  
 そべって、潮風に吹かれながらウ  
 ォークマンで音楽を聴いて、すご  
 くイイ気分。もうずっとこのま  
 までいたいっていう感じだったワ！  
 夜は、またもやシーフードのお店  
 でお食事。そのお店っていうのが  
 道路から入って行くと奥が海上レ  
 ストランになっているお店でね、  
 すっごく雰囲気の良いところなの  
 海の上のテラスで、沖でユラユラ  
 きらめく船の灯りを遠くに眺めて



↓デッキチェアにねて日光浴 潮風と船の揺れ具合が気持ちいい



椰子の実のジュースは甘くておいしいです





↓コラン島への船のキャプテン



↓“海の家”で昼食 おいしくて食べすぎちゃったあ



南十字星はどれかな？なんて探しながら食べたシーフードの味。きつと一生忘れないんじゃないかな。そんなステキな食事の後は、誰が言い出したのか、パタヤ名物の“ショー”を見に行くことに決定。このショーというのが全員男の人なのに、女装したりお化粧した姿をみると、女の人以上にきれいなのにビックリ。なかにはそうでもない人もいたけど……5分位車にのって映画館みたいな劇場に着いてみると、スゴイ行列！ 大人も子供も一緒になってみるんなで、“ショー”を見に来ているのにはちょっとビックリしたけど、ショーがはじまると、なるほどって思ったの。全員化粧した男の人たちなんだけど、全タイヤらしくなくて、とっても楽しいファミリー的なショーなの！ ここで开心的ことがあってね、ダンサーさんたちが歌うのはみんなポップスなんだけど、奈保子がステージでやってるビレッジ・ピープルの“You Can Stop the Music”をインディアンとかポリスとかビレッジ・ピープルそのままの格好をして、彼らがやったワケ！ そしたらマネージャーが「オイ、奈保子のショーやってるゾ！」って大笑い！ 何だか奈保子恥ずかしくなっちゃった！ でも、パタヤの“ショー”、とっても楽





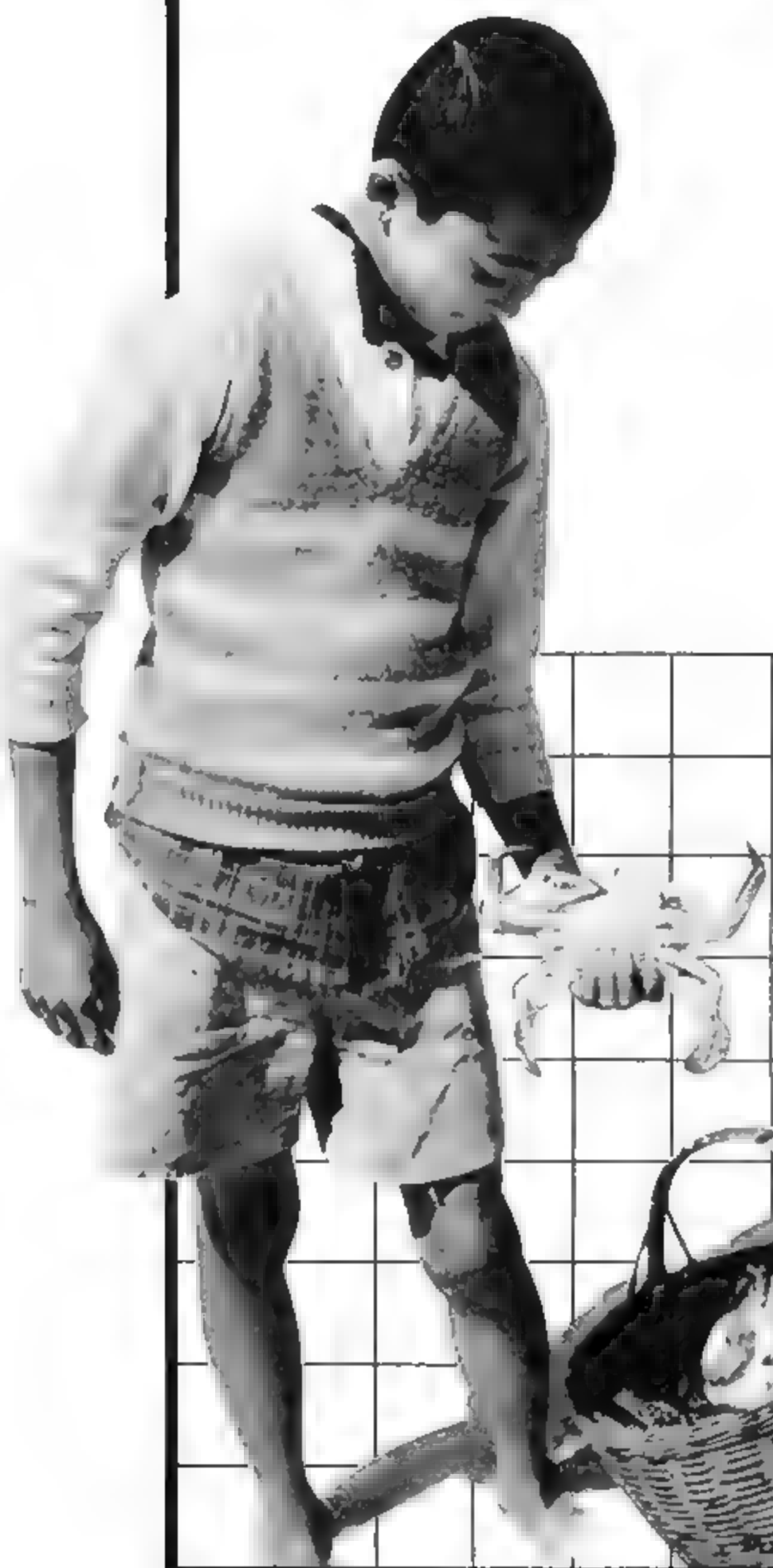
# NAOKO'S DIARY



←ウララ 南国の美人ヨ わたしキレイ?



しかった!  
12月19日  
きょうはパタヤからバンコクに帰  
る日 いよいよ最後の日なのです  
途中で撮影しながら帰るというこ  
とで まずは塩田で車を止めて撮  
影 四角く区切った土地に水がは  
つてあるから てっきり田んぼだ  
と思ったら なんと塩田なの!



カニや貝が採れ放題

ダイバーのパラダイスね





よくよく見ると 1ブロックごとに何日目何日目ってかかれてあって 水が干あがってるところとかあるわけ 昔ながらの塩田法に「なるほど こうして塩を作るのか」なんて感心したりして……昼食をとったドライブインの裏にその従業員の家らしき民家があったんだけど 椰子で屋根をふいた高床式の家だね よく見ると電灯とかないみたいなのね きつと夜はろうそくで ロマンチックに過ごしているのかしら……バンコクに戻って来たのが4時近く お寺が4時に閉まっちゃうというので急いで行ったら 半ズボンの人はダメ！で ジョギングパンツの上にあわてて巻きスカートをはいて中に入ったんだけど……とにかく寺院というのが大きいので！屋根から壁から全部金ぱくがはっ





# NAOKO'S DIARY

↓ワット・アルン寺院は黄金のパレードで豪華けんらん



であって 太陽に光るとものすごくキレイなの 日本のお寺とはずいぶん違う感じ キラキラ光ってて迫力があってとにかく大感激！ここで黄色いケサを着たお坊さんと一緒に写真を撮をとらせていただきました お坊さんの体には絶対に触れちゃいけないとお達しがあったので 思わずキンチョー！コチコチになってしまいました そういえば バンコクに帰る途中で面白いことがあったのヨ 途中立ち寄った町の店先に 雑誌がたくさん並んでね ふと目についたのが 日本のタレントさんたちの顔！ どうしてこんなところにみんないるの？って思ってた手に取ったら なんと表紙の端っこの方に 奈保子の顔もあるじゃない！もうビックリしちゃって みんなで大騒ぎ 店番のオバサンに 写真を指さして「コレ！私！」とやったらオバさん 本と奈保子を見比べてニコッ！ わかってくれました 記念に買ってきたんだけど この本 海賊版で日本の雑誌のコピーばかり 近代映画で撮った私の写真や記事もイッパイのつてました

お寺での撮影で 全部のスケジュールを無事終了！ 夜は中華料理屋にくり出して みんなで「お疲れさまり！！」その後サパークラ

↓一見水田みただけど これが堀田なんです



↑露店で売ってた「ちまき」みだいなのを食べてみたけど……



ブに行ったら 日本人相手のカラ  
オケのお店で 弾き語りも日本の  
古い歌謡曲ばかり……マネージャ  
ーやスタッフはかなり盛り上って





# NAOKO'S DIARY



↑映画館の看板 字が続めなくて題名が分らない



たみたいだけど 奈保子は一時間  
ぐらいでホテルへ……  
ひとりきりになったホテルの部屋  
で バンコクの夜景を見ながら  
「もう明日は日本か……」なんて  
ちよつぱり感傷にひたったりして  
……4日間という短い間だったけ  
ど想い出いっぱいトランクに詰め  
て奈保子は明日 東京に帰ります  
12月20日  
フライトは朝の8時半 7時には  
ホテルを出て 空港で朝食 お世  
話になったレクさんと運転手さん  
に私のLPのテープやキャンディ  
をプレゼントして お別れのご挨拶  
……やっぱり別れは淋しいもの  
「また逢おうね」って約束して



←本屋さんで偶然わたしの載つた雑誌が……

# NAOKO'S DIARY



機上の人に……  
有名なタイの象にのれなかったのは残念だったけど、とっても楽しい旅でした  
6時間もすれば、またサムイ日本の空の上、きっと今頃、街はクリスマス気分がいっぱいね、グッバイ・バンコク！ シーユー・バンコク！ ステキな4日間をありがとう……



# TROPICAL WIND













































# SHADOW





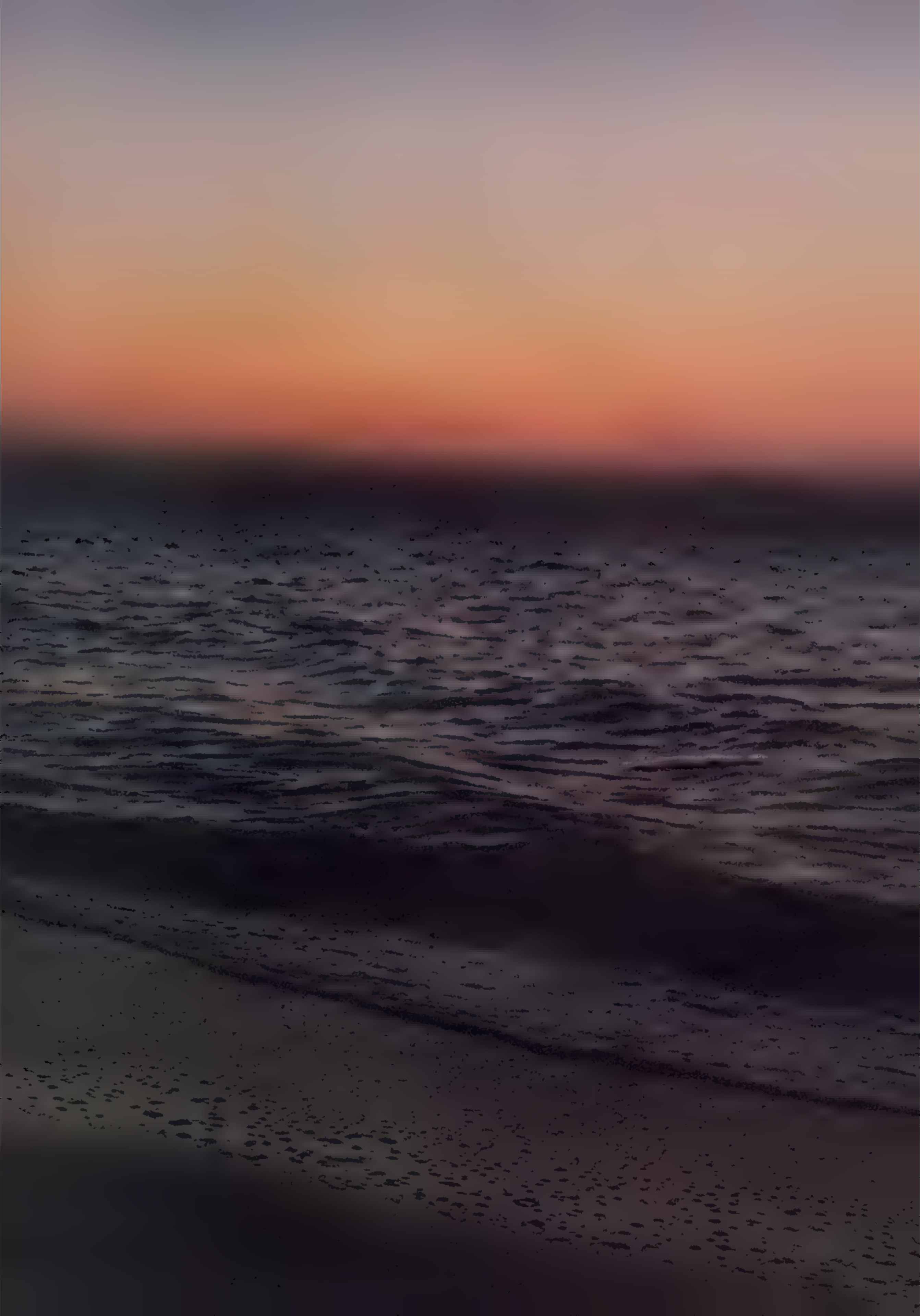
# TWILIGHT



















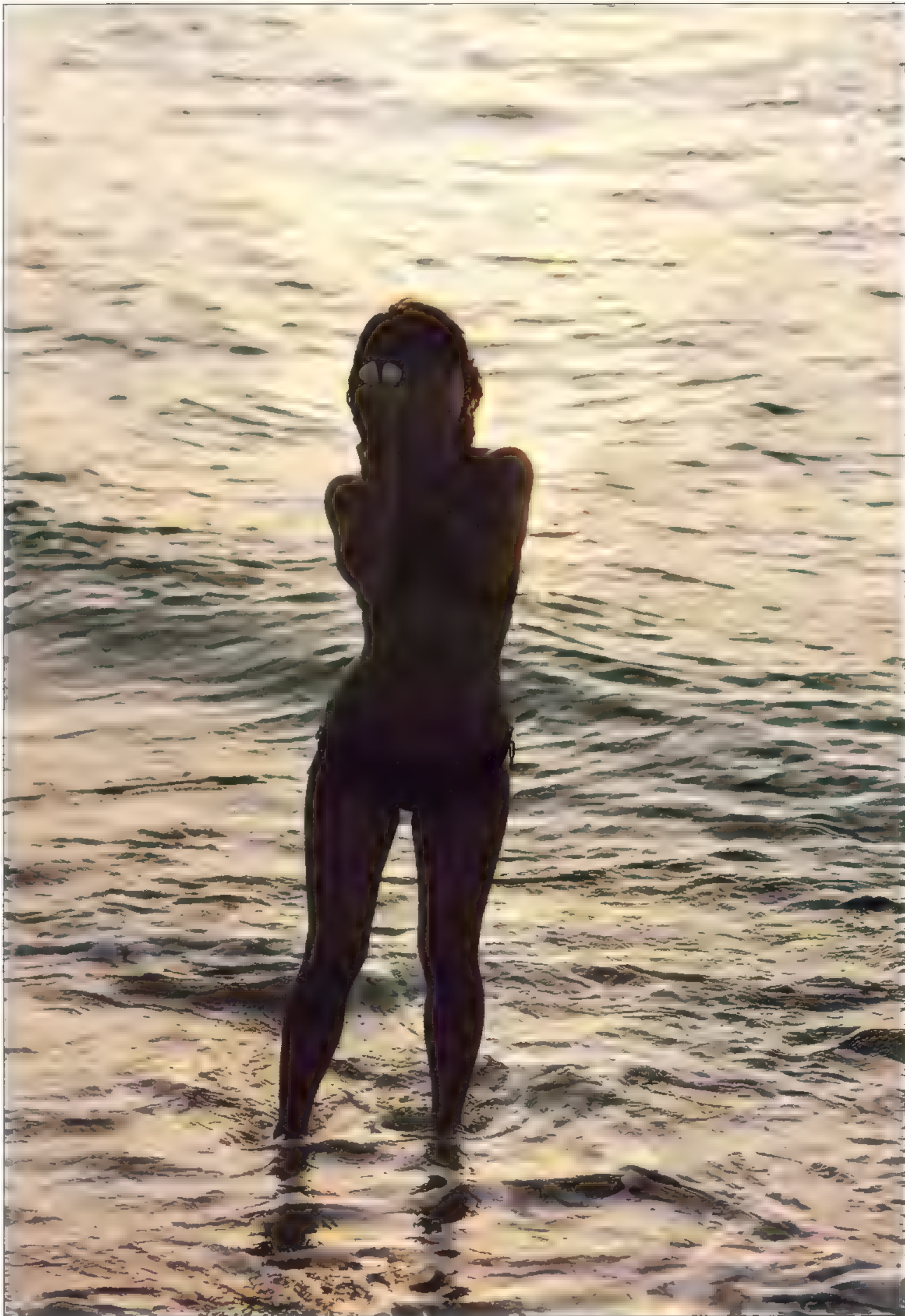




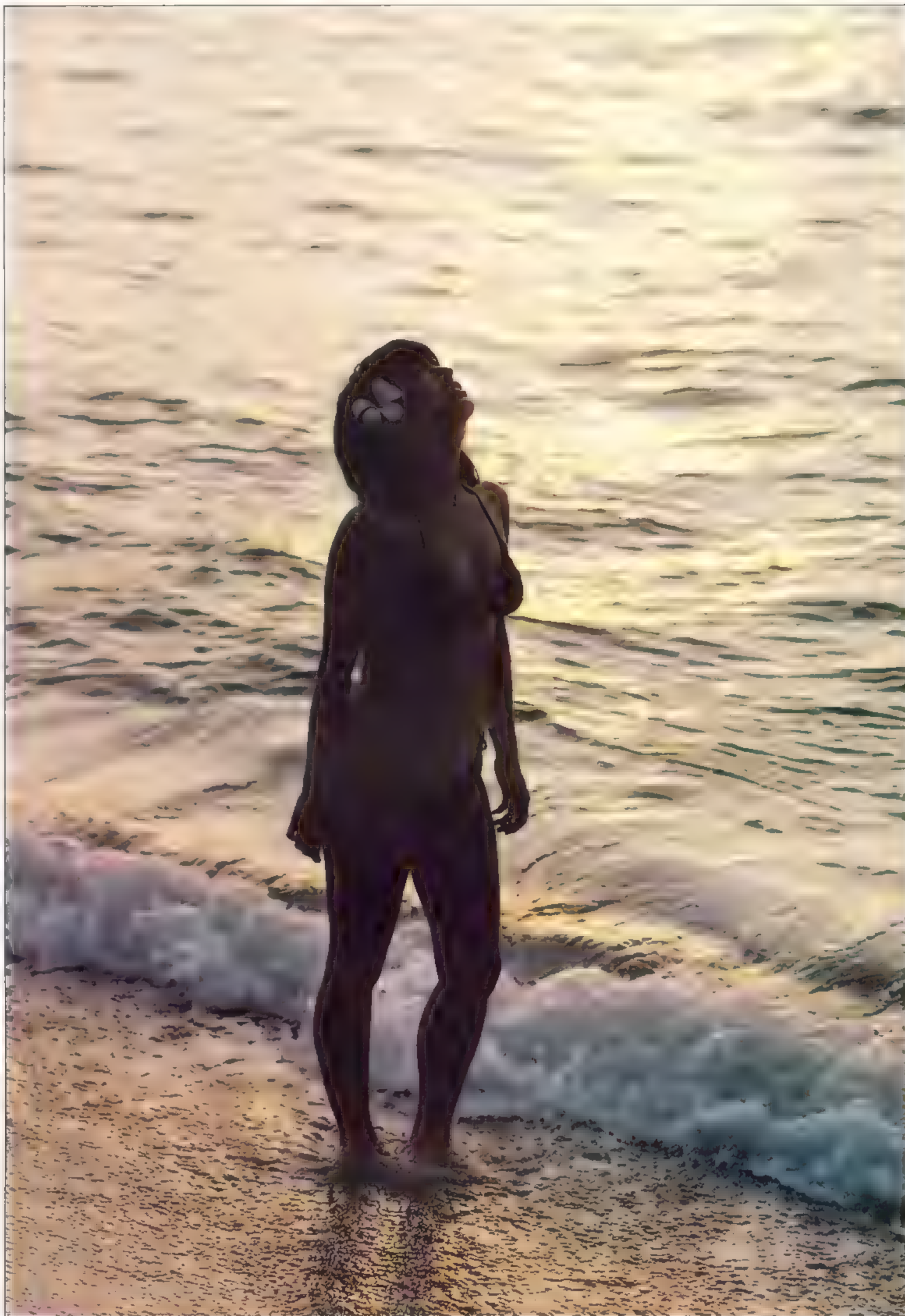


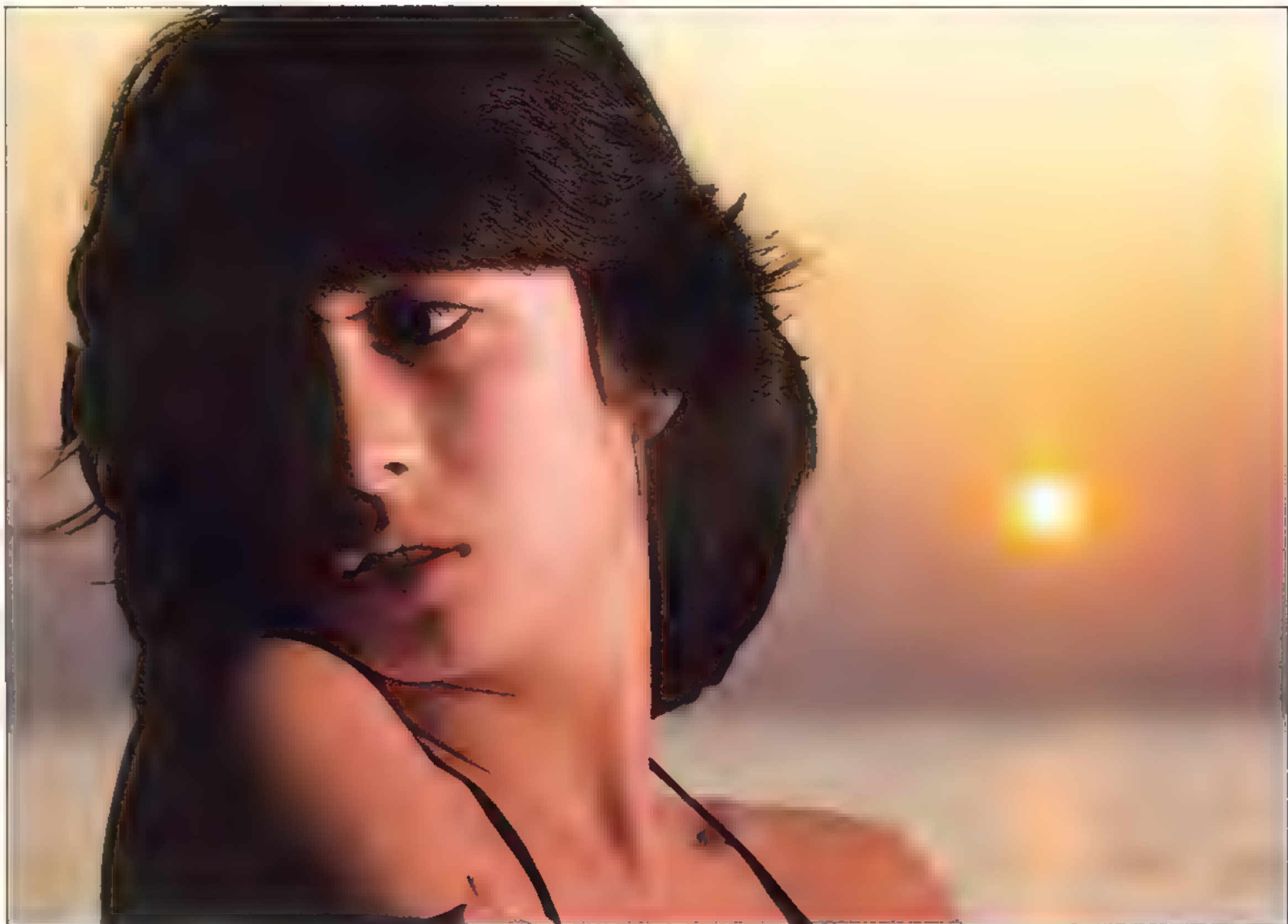






















# 奈保子



河合奈保子写真集 PART-4



PRODUCER

小林邦雄／香川洋三郎

MANAGER

佐藤 進

ART. DIRECTOR

廣野展生

PHOTOGRAPHER

瀬志本邦彦

DESIGNER

近田郁子

WRITER

河合奈保子／北村のん

THAILAND LOCATION

COORDINATOR

LEK KITKAIKOL

水着・衣裳

デサント／Girl Girl／(株)岸田

SPECIAL THANKS TO

(株)芸映

PUBLICITY MANAGER

根岸 弘





河合奈保子写真集 PART 4  
NAOKO IN BANGKOK

昭和58年4月5日発行 第39巻第8号通巻555号

編集・発行人●小杉修造

発行所●(株)近代映画社 定価1380円  
〒105 東京都港区西新橋2の7の4 第20森ビル9F

●  
印刷

大日本印刷株式会社  
三共グラビヤ印刷株式会社

●  
写植版下  
K.K.ワールド写植

# 河合奈保子 PART-4 写真集



## NAOKO IN BANGKOK 河合奈保子写真集パート 4

2019 年 1 月 21 日 電子書籍版発行

著 者 株式会社 近代映画社

発行人 飯田昌宏

発行所 株式会社 小学館

〒101 - 8001

東京都千代田区一ツ橋 2 - 3 - 1

s-ebook@shogakukan.co.jp

底 本 1983 年 4 月 5 日 株式会社 近代映画社発行

©SHOGAKUKAN 2019

### ※ご注意

本作品の全部または一部を無断で複製、転載、改竄、公衆送信すること、および有償無償にかかわらず、本データを第三者に譲渡することを禁じます。

個人利用の目的以外での複製など違法行為、もしくは第三者への譲渡をしますと著作権法、その他関連法によって処罰されます。

応募キーワード④：ひ